

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年2月4日(2016.2.4)

【公開番号】特開2015-83272(P2015-83272A)

【公開日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-029

【出願番号】特願2015-21160(P2015-21160)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月14日(2015.12.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、可変入賞装置を遊技媒体が進入しやすい状態に制御する可変入賞装置制御手段と、可変表示が行われているときに、前記有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されるか否かを報知するための所定演出を実行する所定演出実行手段と、

前記特定演出が実行される可変表示中に前記所定演出の実行を制限する所定演出制限手段とを備え、

前記可変入賞装置制御手段は、前記可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されることが報知され所定期間が経過した後に、前記可変入賞装置を遊技媒体が進入しやすい状態に制御する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機に関する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【特許文献1】特開2010-110475号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、所定演出の実行により遊技に対する興趣を向上させることができるとともに、所定演出の実行によって却って特定演出に遊技者を注目させることができなくなる事態を防止することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(手段1) 本発明による遊技機は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、可変入賞装置を遊技媒体が進入しやすい状態に制御する可変入賞装置制御手段と、可変表示が行われているときに、有利状態に制御されることを示唆する特定演出を実行する特定演出実行手段と、可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されるか否かを報知するための所定演出を実行する所定演出実行手段と、特定演出が実行される可変表示中に所定演出の実行を制限する所定演出制限手段とを備え、可変入賞装置制御手段は、可変入賞装置が遊技媒体が進入しやすい状態に制御されることが報知され所定期間が経過した後に、可変入賞装置を遊技媒体が進入しやすい状態に制御することを特徴とする。

そのような構成により、所定演出の実行により遊技に対する興趣を向上させることができるとともに、所定演出の実行によって却って特定演出に遊技者を注目させることができなくなる事態を防止することができる。